

令和2年度広島県高等学校新人バドミントン大会  
兼 第49回全国高等学校選抜バドミントン大会広島県予選会 要項

- 主 催 広島県高等学校体育連盟
- 共 催 広島県教育委員会
- 主 管 広島県高等学校体育連盟バドミントン競技専門部
1. 期 日 学校対抗戦 令和2年11月 7日（土）・8日（日）  
個人対抗戦 令和2年11月14日（土）・15日（日）
2. 会 場 学校対抗戦 男子1日目・男女2日目 びんご運動公園体育館 尾道市栗原町997  
女子1日目 三原リージョンプラザ 三原市円一町2丁目1-1  
個人対抗戦 男子1日目 福山通運ローズアリーナ 福山市緑町2-2  
女子1日目 三原リージョンプラザ 三原市円一町2丁目1-1  
男子2日目 市立福山高等学校 福山市赤坂町赤坂910  
女子2日目 福山葦陽高等学校 福山市久松台3丁目1-1
3. 種 目 学校対抗戦 および 個人対抗戦 男女各単複
4. 競技規程 令和2年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・同公認審判員規程による。
5. 参加資格
- (1) 選手は広島県高等学校体育連盟規約第5条に規定する学校に所属する生徒で、本競技実施要項により大会の参加資格を得た者に限る。
- (2) 年齢は平成14年4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は同一競技2回までとし、同一学年の出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成について、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (4) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会の参加を認める。
- (5) 転校・転籍後6ヶ月未満の者は、参加を認めない（外国人留学生もこれに準じる）。ただし、一家転住などやむを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (6) 出場する選手は、健康上問題がなく保護者が同意の上、在学する学校長の承認を必要とする。
- (7) 参加資格の特例による参加については、広島県高等学校総合体育大会開催基準要項の通りとする。
- (8) 監督・コーチ・選手・マネージャーは、令和2年度（公財）日本バドミントン協会に会員登録を完了した者とする。
- (9) 引率責任者は、団体戦の場合は校長の認める当該校の教員とする。個人戦の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (10) 監督・コーチは、校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。
6. 参加制限
- (1) 学校対抗戦は各校男女各1チーム、監督1名・コーチ1名・選手5～7名、マネージャー1名以内とする。ただし、マネージャーは選手を兼ねられない。
- (2) 外国人留学生の選手は2名以内とし、1対抗戦の出場は、その人数（1名または2名）にかかわらず1試合とする。

(3) 個人対抗戦については各地区で選ばれた者とし、各地区の割り当ては次の通りとする。

呉 尾 三 広 島 福 山 三 次

男子 6 複 10 単 6 複 10 単 3 2 複 4 0 単 1 6 複 2 4 単 2 複 4 単

女子 6 複 10 単 6 複 10 単 3 2 複 4 0 単 1 6 複 2 4 単 2 複 4 単

7. 参加上の注意

(1) 出場選手の大会期間中の健康管理及び生徒指導については各学校長の責任において遺漏のないよう処置

すること。特に、健康管理、食生活及び交通安全等の指導については十分留意すること。

(2) 選手は大会 2 週間前から体調記録表に記録し、当日持参すること。

(3) 競技場においては会場責任者の指示に従うとともに、競技場を常に清潔に保ち、会場を汚さないこと。

(4) 各自、原則として「健康保険証」を持参すること。

(5) 選手は大会 2 週間前からの行動履歴書を記入しておくこと。

(6) 本大会は「広島県高体連新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に沿って開催する。

8. 使用シャトル

令和 2 年度(公財)日本バドミントン協会第一種検定合格球[4 番]を使用する。本大会においては、感染予防の観点から、受付時にシャトルの本部提出は行わない。なお、学校対抗戦 1 試合につき 5 個、個人対抗戦 1 試合につき 2 個を本部で用意するが、それ以上は双方の持ち寄りとする。

9. 試合方法

(1) トーナメント方式による。学校対抗戦および個人対抗戦とも 3 位決定戦を行う。

(2) 学校対抗戦は 2 複 3 単とし、1 複 - 2 複 - 1 単 - 2 単 - 3 単の順で行い、3 マッチ先取したチームの勝ちとする。ただし、単複は兼ねられるが、1 単のみ他と兼ねることはできない。

10. 目 程

学校対抗戦 第 1 日の試合数は、監督会議で決定する。

個人対抗戦 第 1 日 ダブルスより始め、途中からシングルスも行う。

第 2 日 残り試合全部

開始時刻は学校対抗戦・個人対抗戦ともに監督会議で決定する。

11. 参加申込

学校対抗戦については、所定の用紙に必要事項を記入し、各学校単位で申し込む。

個人対抗戦については、各地区委員長が所定の一覧表にて一括して申し込む。

(1) 申込先 〒739-1741 広島市安佐北区真亀 3 丁目 22-1 Tel 082-842-7781

広島県立高陽高等学校 池田 晋也 宛

(2) 申込期限 令和 2 年 10 月 9 日(金) 必着

12. 組み合せ

監督会議において決定する。

13. 監督会議

(1) 日 時 令和 2 年 10 月 16 日(金) 13:30 ~

(2) 場 所 びんご運動公園 陸上競技場 会議室(尾道市栗原町 997 Tel 0848-48-5446)

14. その 他

(1) 選手は背面に学校・姓を黒または紺色で明記すること。

(2) 会場の使用規定を遵守すること。開場時刻までは入場しないこと。

(3) 前年度優勝校は、優勝旗・楯を返還すること。

(4) 審判は敗者主審制とする。

(5) 本大会の学校対抗戦の 1 位および、個人対抗戦単複の上位 3 名(ペア)が中国大会へ出場できる。

(6) 本大会の出場者は令和 2 年度(公財)日本バドミントン協会の登録および支払いを完了すること。

